

防除ニュース (2011年/10月上旬~11月上旬)

※麦

・稲藁の堆肥促進化に！ “ワラクサール” 20kg(1袋)/10a

刈り取り直後、藁がしめっている時に、“ワラクサール”を全面に散布し藁になじませ藁の炭水化物の分解を促進させ、藁の細胞を死なせることです。

毎年“ワラクサール”を連用することにより藁を受け入れる土壌微生物相が増し、藁の消化率をたかめめことができます。

注：藁が乾燥している状態では効果が半減しますので、雨上がりや朝露のある時の藁が十分に吸湿している状態でご使用してください。

●播種耕起前 播種耕起前の雑草生育期(雑草茎葉散布)10a当たり使用量

- ・バスタ液剤 500ml……播種前、プリグロックSL(毒) 1000ml
散布水量 100Lに溶き散布する(雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布する)
- ・ラウンドアップマックスロード 500ml…雑草生育耕起10日前
散布水量25~50L 少量散布専用ノズル(ラウンドノズル)で散布する。

●播種後処理

◎スズメノテッポウその他一年生雑草(土壌処理)

- ・ムギレンジャー乳剤 400~600ml/100L/1回播種後~出芽前(雑草発生前)

注、砂壤土では、黄化、生育抑制を生じる場合があるので、低めの薬量で使用してください。特に裸麦に影響

- ・ボクサー乳剤 400~600ml/70~100L/1回播種後~麦2葉期まで(雑草発生前~雑草発生始期)
- ・トレファノサイド乳剤 250~300ml・ゴーゴーサン乳剤 500ml・ガレース乳剤 200~250ml
散布水量 100~120Lに溶き散布する(散布むらのないように均一に散布する)
- ・トレファノサイド粒剤2.5 5kg・ゴーゴーサン細粒剤F 5kg・ガレースG 5kg

◎スズメノテッポウその他一年生雑草(土壌・茎葉処理)

- ・ハーモニー細粒剤F 4~5kg(麦1~3葉期 雑草発生前~発生始期)

※ダイズ

・カメムシ類、ハスモンヨトウ、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ(子実肥大期)	トレボン粉剤DL	4kg/10a(14/2)	・ Mr.ジョーカー粉剤DL	4kg/10a(7/2)
	トレボン乳剤	1000倍(14/2)	・ アグロスリン乳剤(劇)	1000倍(7/3)
	エルサン乳剤(劇)	1000倍(7/2)	・ ランネートDF(劇)	1000倍(14/4)
・ハスモンヨトウ	トレボン粉剤DL	4kg/10a(14/2)	・ エルサン粉剤3DL	4kg/10a(7/2)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(7/3)	・ トルネードフロアブル	2000倍(7/2)
	プレオフロアブル	1500倍(7/2)	・ ランネートDF(劇)	1000倍(14/4)
	プレバソンフロアブル	4000倍(7/3)	・ ダーズバン乳剤40(劇)	1500倍(7/2)

※あずき

・カメムシ類、マメシクイガ、シロイチモジマダラメイガ、マメヒメサヤムシガ	トレボン乳剤	1000倍(14/2)	・ アグロスリン乳剤(劇)	2000倍(7/3)
	スミチオン乳剤	1000倍(21/4)	・ トレボン粉剤DL	4kg/10a(14/2)
	・ノメイガ	コテツフロアブル(劇)	2000倍(3/2)	

■捕獲フェロモントラップを設置すると、ハスモンヨトウの防除把握と防除回数を軽減できます。

特長：ハスモンヨトウのオス成虫を広域的に大量に誘殺する。

●ルアー・トラップ(捕獲容器) フェロディンSL(フェロモン剤2個入り)ー2ヶ月位誘因効果

※果 樹

●温州みかん

◎早生温州

・青かび病、緑かび病、浮皮防止、サビダニ、ハダニ(1回目 上旬) カルキング 500倍又は、マイルドカルシウム 500倍又はフィガロン乳剤 4000倍＋ ペフラン液剤25(劇) 2000倍(前/2)＋コロナフロアブル 500倍(-/-)＋マイトコーネフロアブル 1000倍(7/1)
・青かび病、緑かび病(2回目 中～下旬) ペフラン液剤25(劇) 2000倍(前/2)＋ベンレート水和剤 4000倍(前/4)又は トップジンM水和剤 2000倍(前/4)・ペフトップジンフロアブル(劇) 1500倍(7/3)

◎普通温州

・着色促進、ハダニ、浮皮防止(1回目 上～中旬) カルキング 500倍又は、マイルドカルシウム 500倍又はフィガロン乳剤 4000倍＋ コロナフロアブル 500倍(-/-)＋マイトコーネフロアブル 1000倍(7/1)
・青かび病、緑かび病(2回目 中～下旬) ペフラン液剤25(劇) 2000倍(前/2)＋ベンレート水和剤 4000倍(前/4)又は トップジンM水和剤 2000倍(前/4)・ペフトップジンフロアブル(劇) 1500倍(7/3)

◆品質向上(浮皮軽減 ほたる尻の頃から)

フィガロン 4000倍(早生下旬)＋マイルドカルシウム 500倍及びスイカル 300倍
★1回目 着色1～2分頃 ★2回目 着色5～6分頃

●ハウスミカン(早期加温、後期加温)

・ミカンハダニ(中旬) ピラニカ水和剤(劇) 2000倍(21/1)・サンマイト水和剤(劇) 3000倍(3/2)

●ブドウ

・トラカミキリムシ(上旬) 幹枝に十分散布する。 モスピラン水溶剤(劇) 2000倍(収穫後/2)・トラサイドA乳剤 200倍(休/2)＋ アプローチBI 2000倍(展着剤)
--

●キウイフルーツ

・果実軟腐病、灰色かび病(下旬) ベルコート水和剤 1000倍(前/5)
--

●モモ

・穿孔細菌病(上旬) 多発園では2回散布する キンセツ80水和剤 1000倍(60/5)・ICボルドー412 30倍(-/-)
--

●ナシ

・黒星病、輪紋病、うどんこ病(上旬) トップジンM水和剤 1500倍(前/6)

■お茶

・チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、アザミウマ類 アフーム乳剤 2000倍(7/1)・カスケード乳剤 4000倍(7/2) スピノエースフロアブル 3000倍(7/2)・マッチ乳剤 2000倍(7/1)
--

※野 菜

※防除薬剤の安全使用基準を厳守すること。

(収穫〇日前までの使用期限／栽培期間中に使用できる回数)

●キュウリ

・炭そ病	ダコニール1000	1000倍(前/4)	・ストロビーフロアブル	3000倍(前/3)
	ゲッター水和剤	1500倍(前/5)	・ベルコート水和剤	2000倍(前/5)
・褐斑病	ストロビーフロアブル	3000倍(前/3)	・カンタストライフロアブル	1500倍(前/5)
	ダイアメリットDF	1000倍(前/3)	・スミブレンド水和剤	1500倍(前/5)
・べと病	ベトファイター顆粒水和剤	2000倍(前/3)	・ライメイフロアブル	4000倍(前/4)
	ホライズントライフロアブル	2500倍(前/3)	・アリエッティー水和剤	800倍(前/3)
・疫病	ジマンダイセン水和剤	600倍(前/3)		
・斑点細菌病	キノドーフロアブル	1200倍(前/5)	・銅パーシン水和剤	1000倍(前/5)
	ビスダイセン水和剤	600倍(前/2)	・ベフドー水和剤	500倍(前/3)
・うどんこ病	ラーイ水和剤	8000倍(前/5)	・トリフミン水和剤	3000倍(前/5)
	ベルコート水和剤	2000倍(前/5)	・ストロビーフロアブル	3000倍(前/3)
	アフェットフロアブル	2000倍(前/3)	・ダイアメリットDF	1500倍(前/3)
	ダイヤモンド水和剤	1500倍(前/3)	・パンチョTF顆粒水和剤	2000倍(前/2)
・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5000倍(前/3)	・モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(前/3)
	ダントツ水溶剤	4000倍(前/3)	・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(前/2)
	アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(前/3)	・ベストガード水溶剤	1000倍(前/3)
・ハモグリバエ類	アフーム乳剤	2000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(前/2)
	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)	・アグロスリン乳剤(劇)	1000倍(前/5)
・コナジラミ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(前/3)
	ダントツ水溶剤	2000倍(前/3)	・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(前/2)
・アザミウマ類	ダントツ水溶剤	2000倍(前/2)	・スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)
	コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)	・アフーム乳剤	2000倍(前/2)
	カスケード乳剤	2000倍(前/4)	・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(前/2)
・ウリノメイガ	アフーム乳剤	2000倍(前/2)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/3)	・プレバソンフロアブル	2000倍(前/3)

・アミスター、ストロビーには、湿展性を高める展着剤(スカッシュ、ブラホ、アプローチBI他)薬害のおそれがあるので使用しない。

・耐性菌の発生回避のため同一系統薬剤の連用は避ける。(トリフミン、パンチョTF)

●ミニトマト

・葉かび病	アフェットフロアブル	2000倍(前/3)	・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3)
	ゲッター水和剤	1500倍(前/3)	・トリフミン水和剤	3000倍(前/5)
・うどんこ病	アフェットフロアブル	4000倍(前/3)	・ハーモメイト水和剤	1000倍(前/-)
・疫病	ベトファイター顆粒水和剤	2000倍(前/3)	・ライメイフロアブル	4000倍(前/4)
	レーバスフロアブル	2000倍(前/3)	・ランマンフロアブル	1000倍(前/4)
・ハモグリバエ類	アフーム乳剤	2000倍(前/2)	・ダントツ水溶剤	2000倍(前/3)
	コロマイト乳剤	1500倍(前/2)	・トリガード液剤	1000倍(前/2)
・ハダニ類	マイトコーネフロアブル	1000倍(前/1)	・コテツフロアブル(劇)	1500倍(前/2)
・コナジラミ類	ベストガード水溶剤	2000倍(前/3)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(前/3)
	ディアナSC	2500倍(前/2)	・マッチ乳剤	2000倍(前/2)
・ミシキイロアザミウマ	ディアナSC	2500倍(前/2)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)
・ヨトウムシ類	プレバソンフロアブル	2000倍(前/3)	・フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)

●トマト

・葉かび病	アフェットフロアブル	2000倍(前/3)	・トリフミン乳剤	2000倍(前/5)
	アミスター20フロアブル	2000倍(前/4)	・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3)
・灰色かび病	トリフミン乳剤	2000倍(前/5)	・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3)
	ジャストミート顆粒水和剤	3000倍(前/3)	・アフェットフロアブル	2000倍(前/3)
・疫 病	ベトファイター顆粒水和剤	2000倍(前/3)	・リドミルMZ水和剤	750倍(前/2)
	ホライズンドライフロアブル	2000倍(前/3)	・ライメイフロアブル	4000倍(前/4)
・斑点細菌病	カップーシン水和剤	1000倍(前/5)	・コサイドボルドー	1000倍(-/-)
・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5000倍(前/3)	・ダントツ水溶剤	4000倍(前/3)
	ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(前/2)	・モスピラン水和剤(劇)	2000倍(前/2)
・コナジラミ類	ディアナSC	2500倍(前/2)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(前/2)
	チェス顆粒水和剤	5000倍(前/3)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(前/2)
	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(前/2)	・マッチ乳剤	2000倍(前/2)
・ハモグリバエ類	フレバソフロアブル	2000倍(前/3)	・カスケード乳剤	3000倍(前/4)
	トリガード液剤	1000倍(前/3)	・ディアナSC	3000倍(前/2)
・尻腐病 (展着剤加用)	カルキング	500倍	・ハイタックC	500倍
	ハイカルック	300倍	・カルハード	500倍

◎トマト、ミニトマトの注意事項

- ・ハニートーン(マルハナバチ)使用の所は、薬剤散布に注意してください。
- ・花粉が少ない時や天候の関係で花粉量が少ない時には2日に1回付属の花粉を1袋程度の割合で与えてください。
- ・葉かび病での、発生後の防除は効果があがらず、潜伏期間が15～20日もあるので予防に努める。
- ・ハモグリバエ類対策では、ハウス内にバグスキャンイエロー(粘着シート)を吊すことにより密度を下げるができる。
- ・マッチ乳剤、ノーモルト乳剤に、展着剤のスカッシュ 1000倍又はブラボー 1000倍を添加すると効果が安定する。

●ナス

・黒 枯 病	ゲッター水和剤	1500倍(前/5)	・ロブラール水和剤	1000倍(前/4)
・灰色かび病 菌 核 病	ゲッター水和剤	1500倍(前/5)	・スミブレンド水和剤	1500倍(前/5)
	アフェットフロアブル	2000倍(前/3)	・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3)
・すすかび病	アフェットフロアブル	2000倍(前/3)	・カンタストライフロアブル	1000倍(前/3)
	ダイヤモンド水和剤	1500倍(前/3)	・ストロビーフロアブル	3000倍(前/3)
・うどんこ病	トリフミン水和剤	3000倍(前/5)	・アフェットフロアブル	2000倍(前/3)
	パンチョTF顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・ダイヤモンドDF	1500倍(前/3)
・ハダニ類 (チャノホリダニ)	ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(前/2)	・マイトコーネフロアブル	1000倍(前/1)
	スターマイトフロアブル	2000倍(前/1)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)
・ヨトウムシ類	トルネードフロアブル	2000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(前/4)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/3)	・フレバソフロアブル	2000倍(前/2)
	ディアナSC	3000倍(前/2)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)
・コナジラミ類	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(前/3)
	ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(前/2)	・ベストガード水溶剤	1000倍(前/3)
・アザミウマ類	ダントツ水溶剤	2000倍(前/3)	・スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)
	ベストガード水溶剤	1000倍(前/3)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(前/2)
	カスケード乳剤	2000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(前/4)

●イチゴ

・炭そ病	セイビアーフロアブル	1000倍(前/3)	・アミスター207フロアブル	2000倍(前/3)
・うどんこ病	ラーイ乳剤	5000倍(前/3)	・ベルコート水和剤	4000倍(前/2)
	パンチョTF顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・トリフミン水和剤	3000倍(前/5)
	アフエツフロアブル	2000倍(前/3)	・ダイヤモンド水和剤	2000倍(前/2)
・ハダニ類	マイトコーネフロアブル	1000倍(前/2)	・オサダンフロアブル	2000倍(前/3)
	スターマイトフロアブル	2000倍(前/1)	・ダニサラバフロアブル	1000倍(前/2)
	アーデント水和剤	1000倍(前/4)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)
	スパイカルEX(ミヤコカブリダニ)	100~300ml	・スパイデックス(チリカブリダニ)	100~300ml
・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5000倍(前/3)	・アーデント水和剤	1000倍(前/4)
	モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(前/2)	・バリアード顆粒水和剤(劇)	4000倍(前/3)
・ヨトウムシ類	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・カスケード乳剤	4000倍(前/3)
	ディアナSC	2000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(前/4)
	プレバソソフロアブル	2000倍(前/2)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)

●アスパラガス

・茎枯病	ロブラール水和剤	2000倍(前/5)	・ベンレート水和剤	2000倍(前/4)
	アミスター207フロアブル	2000倍(前/4)	・ダコニール1000	1000倍(前/3)
・斑点病	アミスター207フロアブル	2000倍(前/4)	・ダコニール1000	1000倍(前/3)
・ハスモンヨトウ	カスケード乳剤	4000倍(前/2)	・フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)
	コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(前/2)
・アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(前/2)
	アドマイヤー顆粒水(劇)	5000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(前/2)
・ハダニ類	コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)	・コロマイト乳剤	1000倍(前/2)

・バグスカンイエロー(粘着シート)を吊すことにより、アザミウマ類の密度を下げることができる。

・アミスター207フロアブルには、湿展性を高める展着剤(スカッシュ、ブラホ、アプローチBI他)薬害のおそれがあるので使用しない。

●レタス

・べと病	ダコニール1000	1000倍(14/3)	・ライメイフロアブル	2000倍(3/3)
	レーバソフロアブル	2000倍(7/3)	・ヨネポン水和剤	500倍(14/4)
・灰色かび病	アフエツフロアブル	2000倍(前/3)	・ゲッター水和剤	1500倍(7/2)
・菌核病	カンタストライフロアブル	1500倍(14/1)	・スミブレンド水和剤	2000倍(7/5)
・軟腐病、腐敗病	キノドーフフロアブル	1000倍(21/5)	・スターナ水和剤	2000倍(14/2)
・すそ枯病	ダコニール1000	1000倍(14/3)	・アフエツフロアブル	2000倍(前/3)
	リゾレックス水和剤	1000倍(7/3)	・バリダシン液剤5	800倍(7/3)
・アブラムシ類、ヨトウムシ オオタバコガ、ナモグリハエ	ジュリポフロアブル	200倍	0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半~定植当日/1
・ヨトウムシ、ハスモンヨトウ オオタバコガ、ナモグリハエ	プレバソソフロアブル	100倍	0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半~定植当日/1
・アブラムシ類	ダントツ水溶剤	4000倍(3/2)	・アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(3/2)
	アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(7/2)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(3/2)
・ヨトウムシ類	プレバソソフロアブル	2000倍(3/3)	・トルネードフロアブル	2000倍(7/2)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(7/2)
・ナモグリハエ	プレバソソフロアブル	2000倍(3/3)	・ディアナSC	3000倍(前/2)
	コテツフロアブル(劇)	2000倍(7/2)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(3/2)
・ネキリムシ類	ラービンベイト	3kg/10a(45/2)	・カルモック	3kg/10a(植/2)

●ニンジン

・黒葉枯病	ダコニール1000 ストロビーフロアブル	1000倍(7/5)・キノドーフロアブル 3000倍(14/2)・カンタストライフロアブル	800倍(3/5) 1500倍(14/3)
・斑点病	ストロビーフロアブル	3000倍(14/2)・カンタストライフロアブル	1500倍(14/3)
・うどんこ病	トリフミン水和剤	3000倍(前/3)・ベルクートフロアブル	1000倍(14/5)
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(30/2)・ジメトエート乳剤	1000倍(7/3)
・ヨトウムシ類	ランネートDF(劇)	1000倍(前/1)・アフーム乳剤	2000倍(前/3)
・ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(3/3)・アフーム乳剤	2000倍(前/3)

●バレイショ

・疫病	ライメイフロアブル ベトファイター顆粒水和剤	3000倍(7/4)・ダコニール1000 2000倍(7/3)・レーバフロアブル	1000倍(7/5) 2000倍(7/2)
・アブラムシ類	モスピラン水溶剤(劇) オルトラン水和剤	4000倍(7/3)・アルバリン顆粒水溶剤 1000倍(7/4)・ランネートDF(劇)	2000倍(7/2) 1000倍(7/5)
・ジャガイモガ	オルトラン水和剤 ラービン水和剤75(劇)	1000倍(7/4)・ランネートDF(劇) 1000倍(7/5)・パダンSG水溶剤(劇)	1000倍(7/5) 1500倍(7/6)
・ヨトウムシ類	オルトラン水和剤	1000倍(7/4)・フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)

●こまつな

・白さび病	アミスター20フロアブル	2000倍(7/2)・ライメイフロアブル	2000倍(3/3)
・キスジノキハムシ	アルバリン顆粒水溶剤 フォース粒剤(劇)	2000倍(14/2)・モスピラン水溶剤(劇) 4kg/10a(播/1)・ダイアジノン粒剤5	4000倍(7/1) 6kg/10a(播/1)
・ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤	3500倍(14/2)・アフーム乳剤	2000倍(7/3)
・コナガ、アオムシ ヨトウムシ	コテツフロアブル(劇) カスケード乳剤	2000倍(14/1)・プレバソフロアブル 2000倍(7/2)・アフーム乳剤	2000倍(前/2) 2000倍(7/2)

●チンゲンサイ

・白さび病	アミスター20フロアブル	2000倍(7/2)・ランマンフロアブル	2000倍(3/3)
・キスジノキハムシ	アルバリン顆粒水溶剤 フォース粒剤(劇)	2000倍(3/2)・モスピラン水溶剤(劇) 4kg/10a(播/1)・ダイアジノン粒剤5	4000倍(7/1) 6kg/10a(播/1)
・ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤 トリガード液剤	3500倍(14/2)・パダンSG水溶剤(劇) 1000倍(7/2)・ダントツ水溶剤	1500倍(7/3) 2000倍(14/3)
・アオムシ、コナガ	コテツフロアブル(劇) プレバソフロアブル	2000倍(7/1)・カスケード乳剤 2000倍(前/2)・プレオフロアブル	2000倍(7/2) 1000倍(7/2)

●ブロッコリー

・黒腐病	ヨネポン水和剤	500倍(前/4)・キノドー水和剤40	800倍(14/3)
・べと病	アミスター20フロアブル	2000倍(3/3)・ライメイフロアブル	2000倍(7/4)
・軟腐病	スターナ水和剤	2000倍(14/2)・ナレート水和剤	1000倍(14/2)
・ネキリムシ類	カルモック	3kg/10a(14/4)	
・アブラムシ類、ヨトウムシ	ジュリボフロアブル	200倍 0.5L/セルトレイ灌注 育苗期後半～定植当日/1	
・コナガ、アオムシ	プレバソフロアブル	100倍 0.5L/セルトレイ灌注 育苗期後半～定植当日/1	
・シンクイムシ類	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)・モスピラン粒剤	0.5g/株(定/1)
・ヨトウムシ類	プレバソフロアブル コテツフロアブル(劇)	2000倍(3/3)・フェニックス顆粒水和剤 2000倍(7/2)・ランネートDF(劇)	2000倍(前/2) 1000倍(7/2)
・コナガ	トルネードフロアブル フェニックス顆粒水和剤	2000倍(14/2)・アフーム乳剤 2000倍(前/2)・プレオフロアブル	2000倍(7/3) 1000倍(7/2)

●キャベツ

・べと病	レーバスフロアブル	2000倍(7/3)・ライメイフロアブル	2000倍(7/4)
・軟腐病	スターナ水和剤	1000倍(7/3)・ナレート水和剤	1000倍(14/3)
	バリダシン液剤5	800倍(7/5)・ヨネポン水和剤	500倍(7/3)
・アブラムシ類	モスピランSL液剤(劇)	4000倍(7/5)・アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(7/2)
・コナガ,アオムシ ヨトウムシ,ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル	100倍 0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半～定植当日/1
・アブラムシ類,ヨトウムシ	ジュリボフロアブル	200倍 0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半～定植当日/1
・ハイマダラメイガ (シンクイムシ)	ディアナSC	3000倍(前/2)・アルバリン顆粒水溶剤	50倍(定/1)
	トルネードフロアブル	2000倍(7/2)・プレバソンフロアブル	2000倍(前/3)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/3)・プレオフロアブル	1000倍(7/2)
・ヨトウムシ類	トルネードフロアブル	2000倍(7/2)・コテツフロアブル(劇)	2000倍(3/2)
	フェニックス顆粒水溶剤	2000倍(前/3)・プレバソンフロアブル	2000倍(前/3)
	プレオフロアブル	1000倍(7/2)・ランネートDF(劇)	1000倍(3/3)
	ノーモルト乳剤	2000倍(7/2)・ディアナSC	3000倍(前/2)

・アルバリン顆粒水溶剤は、50倍でセル成型育苗トレイに、0.5L灌注する。

●カリフラワー

・軟腐病	スターナ水和剤	2000倍(14/2)	
・アブラムシ類	モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(7/3)・ランネートDF(劇)	1000倍(3/2)
・コナガ	アファーム乳剤	2000倍(3/3)・コテツフロアブル(劇)	2000倍(3/2)
・ヨトウムシ類	オルトラン水和剤	1000倍(14/3)・ランネートDF(劇)	1000倍(3/2)

●はくさい

・白さび病	アミスター20フロアブル	2000倍(7/4)・フォリオブラボ顆粒水和剤	1000倍(7/2)
・黒腐病	ダコニール1000	1000倍(7/2)・ストロビーフロアブル	3000倍(3/3)
・白斑病	アミスター20フロアブル	2000倍(7/4)・ストロビーフロアブル	3000倍(3/3)
・べと病、黒斑病	アミスター20フロアブル	2000倍(7/4)・ダコニール1000	1000倍(7/2)
・アブラムシ類,ヨトウムシ	ジュリボフロアブル	200倍 0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半～定植当日/1
・ヨトウムシ,ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル	100倍 0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半～定植当日/1
・アオムシ,コナガ ヨトウムシ類	トルネードフロアブル	2000倍(7/2)・フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/3)
	ランネートDF(劇)	1000倍(前/2)・プレバソンフロアブル	2000倍(3/3)
	プレオフロアブル	1000倍(7/2)・パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/3)
	コテツフロアブル(劇)	2000倍(7/2)・ノーモルト乳剤	2000倍(7/2)

●ネギ

・べと病	アミスター20フロアブル	2000倍(3/4)・アリエッティ水和剤	800倍(3/3)
	ダコニール1000	1000倍(14/2)・レーバスフロアブル	2000倍(7/2)
・さび病	ラリー乳剤	4000倍(14/3)・ストロビーフロアブル	2000倍(7/3)
	オンリーワンフロアブル	1000倍(14/3)・アミスター20フロアブル	2000倍(3/4)
・ネギアサミウマ	ディアナSC	3000倍(前/2)・ダントツ水溶剤	2000倍(3/4)
	ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(3/2)・アルバリン顆粒水溶剤	400倍(14/1)
・ネギハモグリバエ	ディアナSC	3000倍(前/2)・アルバリン顆粒水溶剤	400倍(14/1)
	ベストガード粒剤	6kg/10a(定/1)・ダントツ水溶剤	2000倍(3/4)
・ヨトウムシ類	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(7/3)・プレバソンフロアブル	2000倍(3/3)
	ディアナSC	3000倍(前/2)・プレオフロアブル	1000倍(3/4)

※アルバリン顆粒水溶剤 400倍/0.4L/m² 株元灌注

●わけぎ

・黒斑病、さび病	アミスター2070アブル	2000倍(7/4)	・オンリーワンアブル	1000倍(14/3)
・べと病	アミスター2070アブル	2000倍(7/4)	・アリエッティ水和剤	800倍(3/3)
	ランマンアブル	2000倍(3/3)	・ヨネポン水和剤	500倍(7/4)
・ネギアザミウマ	アドマイヤー1粒剤	4kg/10a(定/1)	・アクタラ粒剤5	6kg/10a(植/1)
	アドマイヤーアブル(劇)	2000倍(3/2)	・アクタラ顆粒水和剤	2000倍(3/3)
・ネギハモグリバエ	アクタラ粒剤5	6kg/10a(植/1)	・アクタラ顆粒水和剤	2000倍(3/3)
	アグロスリン乳剤(劇)	2000倍(3/2)	・モスピラン粒剤	6kg/10a(植/1)
・シロイチモジヨトウ	アフーム乳剤	2000倍(7/3)	・アグロスリン乳剤(劇)	2000倍(3/2)

●ダイコン

・白さび病	アミスター2070アブル	2000倍(14/3)	・ライメイアブル	3000倍(7/4)
・ワッカ症	アミスター2070アブル	2000倍(14/3)	・ランマンアブル	2000倍(3/3)
・軟腐病	ヨネポン水和剤	500倍(7/4)	・カップパーシン水和剤	1000倍(14/3)
・アブラムシ類	ダントツ水溶剤	4000倍(7/2)	・モスピランSL液剤(劇)	4000倍(14/1)
	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(7/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(7/3)
・ハイマダラノメイガ	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(7/2)	・パダンSG水溶剤(劇)	1000倍(7/3)
	ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(14/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(7/3)
・キスジノミハムシ	モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(14/1)	・エルサン乳剤(劇)	1000倍(30/2)
・ヨトウムシ類	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(7/2)	・トルネードアブル	2000倍(7/2)
	パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/3)	・プレオアブル	1000倍(14/2)

●カブ

・白さび病	アミスター2070アブル	2000倍(7/2)	・ランマンアブル	2000倍(3/3)
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(3/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(7/2)
・シンクイムシ類	ハチハチ乳剤(劇)	2000倍(7/2)	・エルサン乳剤(劇)	1000倍(30/2)
・キスジノミハムシ	ハチハチ乳剤(劇)	2000倍(7/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(21/1)
・アオムシ	ランネートDF(劇)	1000倍(7/2)	・コテツアブル(劇)	2000倍(前/2)

●たかな(マンバ)

・白さび病	アミスター2070アブル	2000倍(7/2)	・ライメイアブル	2000倍(3/3)
・白斑病	ストロビーアブル	3000倍(7/2)		
・アブラムシ類	モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(7/1)	・アドマイヤーアブル(劇)	4000倍(14/2)
・コナガ	スピノエース顆粒水和剤	3000倍(14/2)	・アフーム乳剤	2000倍(7/3)
	カスケード乳剤	2000倍(7/2)	・ノーモルト乳剤	2000倍(14/2)

●ホウレンソウ

・べと病	アリエッティ水和剤	1500倍(前/2)	・ライメイアブル	4000倍(7/2)
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(3/2)	・アドマイヤーアブル(劇)	4000倍(前/2)
・ヨトウムシ類	ランネートDF(劇)	1000倍(14/4)	・アフーム乳剤	2000倍(3/2)
	カスケード乳剤	4000倍(3/3)	・ノーモルト乳剤	2000倍(7/2)
	アグロスリン乳剤(劇)	2000倍(7/5)	・サブリーナアブル	500倍(前/-)
・アザミウマ類	アドマイヤーアブル(劇)	4000倍(前/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(14/4)
	パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/2)	・アグロスリン乳剤(劇)	1000倍(7/5)
・ハダニ類	ダニトロンアブル	2000倍(21/1)		
・ハモグリバエ類	カスケード乳剤	4000倍(3/3)	・パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/2)
・ホウレンソウケナガコナダニ	アフーム乳剤	2000倍(3/2)		

●シュウギク

・べと病	コサイドポルドー	1000倍(-/-)	
・炭疽病	ストロビーフロアブル	3000倍(14/3)	
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇) 8000倍(14/2)
・ハスモンヨトウ	カスケード乳剤	4000倍(7/2)	・アフーム乳剤 2000倍(7/2)
・ハモグリバエ類	トリガード液剤	1000倍(7/2)	・カスケード乳剤 4000倍(7/2)
	アフーム乳剤	2000倍(7/2)	・ベストガード粒剤 9kg/10a(3/2)

●なばな

・白さび病	ストロビーフロアブル	3000倍(前/2)	・ランマンフロアブル 2000倍(3/3)
・べと病	ダコニール1000	1000倍(21/3)	出蕾前
・アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤	6kg/10a(は種/1)	・オルトラン粒剤 6kg/10a(定/1)
	モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(14/1)	・パダンSG水溶剤(劇) 1500倍(7/3)
・ヨトウムシ類	アフーム乳剤	2000倍(7/2)	・コテツフロアブル(劇) 2000倍(7/2)
・ネキリムシ類	カルモック	3kg/10a(発芽/1)	

●ネキリムシ類、コオロギ類の防除

薬剤名	登録作物
・カルモック・ネキリトンK 3kg/10a	いちご、はくさい、キャベツ、だいこん、はつかだいこん、ブロッコリー、レタス 非結球レタス、なばな、だいず、えだまめ、さといも、ごぼう、かぶ、ねぎ、にんじん
・デナポン5%ベイト	キャベツ、はくさい、だいこん
・ラービンベイト2	キャベツ、はくさい、だいこん、レタス

※野菜除草剤

●キャベツ

薬剤名	処理方法	使用時期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前又は植付前)/3	600~1L
バスタ液剤	茎葉処理	定植前・畦間処理(45/2)	300~500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植3日前(植穴堀前)/1	4~6kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植3日前(植穴堀前)/1	200~300ml
ゴーゴーサン乳剤30	土壌処理	定植前	200~400ml
ゴーゴーサン細粒剤F	土壌処理	定植前又は定植直後	4~5kg
クレマート乳剤	土壌処理	定植前	200~400ml
クレマートU粒剤	土壌処理	定植前	4~6kg
ラッソー乳剤	土壌処理	定植8日後まで/1	150~200ml
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉(30/1)	150~200ml
セレクト乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉(30/1)	50~75ml

●ブロッコリー

薬剤名	処理方法	使用時期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	播種前又は植付前・畦間処理(3/3)	600~1L
バスタ液剤	茎葉処理	定植前・畦間処理(21/2)	300~500ml
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植前	200~300ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植前	4~6kg
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉(7/2)	150~200ml

●ニンニク

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
バスタ液剤	茎葉処理	畦間処理 前/2	300～500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	植付後(マルチ前散布)・春期中耕後除草後(90/2)	5kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	植付後(マルチ前散布)・春期中耕後除草後(90/2)	300ml
ゴーゴーサン乳剤30	土壌処理	植付前	300～500ml
クレマート乳剤	土壌処理	定植後萌芽前	200～400ml
クレマートU粒剤	土壌処理	植付後萌芽前	4～6kg
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3～5葉(30/1)	150～200ml
セレクト乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3～5葉(30/1)	50～75ml

●ねぎ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前・植付前)/3	600ml～1L
バスタ液剤	茎葉処理	雑草生育期(定植前・畦間処理)前日/2	300～500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植直後	4～5kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植直後	200～300ml
ゴーゴーサン乳剤30	土壌処理	定植後(定植10日後まで)/1	200～300ml
ゴーゴーサン細粒剤F	土壌処理	定植後(定植10日後まで)/1	4～6kg
ナブ乳剤	茎葉処理	イネ科雑草3～5葉期(30/1)	150～200ml
セレクト乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3～5葉(30/1)	50～75ml

●わけぎ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前・植付前)/3	600ml～1L
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植直後/1	4～5kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植直後/1	200～300ml
クレマート乳剤	土壌処理	定植活着後 定植10日後まで	200～400ml
クレマートU粒剤	土壌処理	定植活着後 定植10日後まで	4～6kg

●なばな

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前・植付前)/3	600ml～1L
バスタ液剤	茎葉処理	播種前・畦間処理(雑草生育期)	300～500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植前(移植栽培)	4kg
〃	〃	播種直後(直種栽培)	〃
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植直後(移植栽培)	200ml
〃	〃	播種直後(直種栽培)	150～200ml

●ハクサイ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前・植付前)/3	600ml～1L
バスタ液剤	茎葉処理	雑草生育期(定植前・畦間処理)45/2	300～500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植3日前(植穴堀前)	4～6kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植3日前(植穴堀前)	200～300ml
クレマート乳剤	土壌処理	定植前	200ml
ラッソー乳剤	土壌処理	定植直後	150～200ml
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3～5葉	150～200ml

●ダイコン、カブ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前)/3	600ml~1L
バスタ液剤	茎葉処理	雑草生育期(定植前・畦間処理)45/2	300~500ml
トレファノサイド乳剤	土壌処理	播種直後	150~200ml
ラッソー乳剤	土壌処理	播種直後	150ml
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉	150~200ml

●ハウレンソウ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前)/3	600ml~1L
レンザー水和剤	土壌処理	播種覆土直後	100~150g
ラッソー乳剤	土壌処理	播種直後	150ml
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉	150~200ml

※レンザー使用の場合は、6ヶ月以内はイネ科、ウリ科、アブラナ科は栽培できない。

●こまつな

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
プリグロックスL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前)/3	600ml~1L
トレファノサイド乳剤	土壌処理	播種直後	150~200ml
ラッソー乳剤	土壌処理	播種直後	50~100ml
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉	150~200ml

★花 卉

●キ ク

・黒斑病、褐斑病	ダコニール1000	1000倍(-/6)	・ベンレート水和剤	2000倍(-/6)
	ストロビーフロアブル	2000倍(-/3)	・ジマンダイセンフロアブル	500倍(-/8)
・白さび病	ラリー乳剤	3000倍(-/5)	・アンビルフロアブル	1000倍(-/7)
	チルト乳剤	3000倍(-/3)	・ピリカット乳剤	1000倍(-/6)
	アミスター207フロアブル	2000倍(-/5)	・ストロビーフロアブル	2000倍(-/3)
・アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル(劇)	2000倍(-/5)	・トクチオン乳剤	1000倍(-/5)
	ダントツ水溶剤	4000倍(-/4)	・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(-/4)
・ハダニ類	ダニサラバフロアブル	1000倍(-/2)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(-/2)
	スターマイトフロアブル	2000倍(-/1)	・マイトコーネフロアブル	1000倍(-/1)
	オサダンフロアブル	2000倍(-/2)	・カスケード乳剤	2000倍(-/3)
・ハモグリバエ類	トリガード液剤	1000倍(-/4)	・アフーム乳剤	1000倍(-/5)
	カスケード乳剤	2000倍(-/3)	・ダントツ水溶剤	2000倍(-/4)
	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(-/2)	・カルホス乳剤(劇)	1000倍(-/4)
・アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル(劇)	2000倍(-/5)	・ダントツ水溶剤	2000倍(-/4)
	カスケード乳剤	2000倍(-/3)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(-/2)
	オンコルマイクロカプセル(劇)	1000倍(-/3)	・スピノエース顆粒水和剤	5000倍(-/2)
・オオタバコガ	ライトニングフロアブル	2000倍(-/4)	・プレバソフロアブル	2000倍(-/4)
	プレオフロアブル	1000倍(-/4)	・アフーム乳剤	1000倍(-/5)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(-/4)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(-/2)

・除草剤 アグロマックス水和剤 200~400g/100L/10a(定植後雑草発生前/1)

●カーネーション

・斑点病	ポリオキシシAL水溶剤	1000倍(-/5)・ダコニール1000	1000倍(-/6)
・ハダニ類	モレスタン水和剤	1000倍(-/-)・ペンタック水和剤	1500倍(-/-)
	ダニサラバフロアブル	1000倍(-/2)・オサダン水和剤	1000倍(-/2)
・アブラムシ類	ロディー乳剤(劇)	1000倍(-/6)・アドマイヤーフロアブル(劇)	2000倍(-/5)
・ヨトウムシ類	アフーム乳剤	1000倍(-/5)・ノーモルト乳剤	2000倍(-/2)
・アザミウマ類	プリンスフロアブル(劇)	2000倍(-/5)・スミチオン乳剤	1000倍(-/6)

●バラ

・うどんこ病	ポリオキシシAL水溶	2500倍(-/5)・トリフミン水和剤	3000倍(-/-)
	ラー乳剤	4000倍(-/5)・アンピルフロアブル	1000倍(-/7)
・黒星病	ダコニール1000	1000倍(-/6)・サルバトーレME	3000倍(-/7)
	ラー乳剤	4000倍(-/5)・フルピカフロアブル	2000倍(-/5)
・アブラムシ類	ダントツ水溶剤	2000倍(-/4)・アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(-/5)
・ハダニ類	カスケード乳剤	1000倍(-/3)・粘着くん液剤	100倍(-/6)
	ダニサラバフロアブル	1000倍(-/2)・ペンタック水和剤	1500倍(-/-)
・アザミウマ類	ダントツ水溶剤	2000倍(-/4)・ベストガード水溶剤	1000倍(-/4)
	カスケード乳剤	2000倍(-/3)・プリンスフロアブル(劇)	2000倍(-/5)

●トルコギキョウ

・炭疽病	ジマンダイセン水和剤	400倍(-/8)	
・ヨトウムシ類	トレボン乳剤	1000倍(-/6)	
・アザミウマ類	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍(-/6)・スカウトフロアブル(劇)	2000倍(-/5)
・ハモグリバエ類	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍(-/6)	
・ハダニ類	ダニトロンフロアブル	1000倍(-/1)	

■液状複合肥料 『モーニングルチン』

海藻エキスとルチンの働きで、光合成を促進し、品質を高めます。

- ◎主成分 窒素全量2%(海藻エキス)、りん酸8%、加里3%、マンガン0.1%、ほう素0.4%、ルチン9%以上
りん酸コリン(発根促進)
- ◎特長 りん酸、加里成分の肥効により以下の効果が得られます。
 1. 光合成を促進し、開花、着果がよくなります
 2. 果実の肥大、充実が良くなります
 3. 果実の着色、糖度の向上し、品質が高まります
- ◎対象作物 苺、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、花卉など作物全般
- ◎使用方法 葉面散布ー2000倍液を10a当たり100～150Lを2週間間隔で3～4回散布する
- ◎商品形態 550g

■ニュータイプの速効性カルシウム液肥 “ハイタック-C”

○有機酸カルシウムにコリンをバランスよく配合したニュータイプの速効性液体カルシウム肥料です

○有機酸カルシウムの中では最も水に溶けやすく、コリンと共に植物への浸透吸収性に優れカルシウムの肥効を最大限に発揮させます。

○カルシウム欠乏症の予防のほか、コリンによる健全な生育が期待できます。

◎使用方法

対象作物	散布目的	散布時期	散布間隔	濃度
トマト	尻腐れ	果実肥大期	10～14日間隔	500倍
ネギ	葉先枯れ	生育期	10～14日間隔	500倍
花卉類	カルシウム欠乏症	生育期	10～14日間隔	500倍

■植物根生育促進剤 『育王』

不思議なほどに根が伸び、根が増える！

- 成分 主原料:低分子核酸
- 応用範囲 野菜類、葉菜類、果物、水稻、茶樹、花卉、芝生など
- 効果
 - 育苗管理 根量が増え、健苗が育成されるので定植時の根傷みが軽減されます。
 - 成り疲れ防止 根の活力を復活させて成り疲れを回復し収穫量、品質を安定させます。
 - 品質向上 養分の吸収バランスが良くなり、糖度アップ、充実肥大、鮮やかな色艶等の効果が得られます。
 - 被害回避 根の活力が旺盛になりますので、作物が健全に育成し病害虫に対し抵抗力が増します。
- 施用方法 既にある根の組織に直接接触させることが必要です(葉面や茎の組織からは吸収されません) 土中への灌水、灌注や苗のドブ漬け、または、水稻育苗、ポット育苗での散水で使用する。
- 希釈濃度 10a当たり『育王』1kgを1000倍以上に希釈してください。高濃度で施用するより水量を増やし根との接触の機会を高めることが、より効果のある使い方です。
- 商品形態 100ml、1L、5L、10L

■光合成促進！！ パワーチャージ(アミノプリンV配合)

◎特徴 葉色維持、収穫向上、なり疲れ、塩類集積障害の軽減に効果が期待されます。

5-アミノレブリン酸は、天然アミノ酸の一種で、植物の葉や茎に含まれる葉緑素(クロロフィル)に変わっていく光合成に関する重要な成分です。その生成量は、植物によってコントロールされ、必要以上には生合成されません。5-アミノレブリン酸を施用することで植物の活性が高まり、水や肥料の吸収が向上し、生育がよくなるのが各種の試験で確認されています。

○希釈倍数と施用方法

施用方法	効果を発揮する倍数	10a当たり散布量	施用間隔(週)
茎葉散布	2,000～10,000倍	300L	1～2回/週
土壌散布	5,000～20,000倍	600L	1～2回/週

対象作物

果菜類 イチゴ、トマト、キュウリ等

鉢物 プリムラ、シネリリア、ベンジャミン他

葉菜類 ホウレンソウ、コマツナ、レタス等

その他 ジャガイモ、芝、茶樹、水稻の育苗等

花卉類 キク、バラ、トルコキキョウ等

果樹類 カンキツ、ブドウ、リンゴ等

■酵母から生まれた肥料 「豊作物語」(アサヒ)

- ◎主成分 酵母細胞壁分解物他(窒素…0.2% 水溶性りん酸…0.8% 水溶性カリ…0.6%)
- ◎効果 病害虫抵抗性の増大、光合成促進、発根促進、養分吸収の促進、開花・結実の促進
- ◎対象作物 苺、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、花卉など作物全般
- ◎特徴 植物体内でワクチンのような役目をしてバクテリア系の病害虫抵抗性を高めたり、植物を活性化させて発根を促したりする働きがある。
- ◎使用方法 灌水—10a当たり原液換算で500ml
葉面散布—1000倍液を10a当たり100～150L散布
- ◎商品形態 1L、5L

・ベルコート水和剤 (8/24付)	ねぎ	さび病、黒斑病	2000倍	30/3
	もも	すすかび病	1000~2000倍	前/3
	「もも」の果実赤点病の希釈倍数を「1000倍」→「1000~2000倍」に変更			
・バリュースターフロアブル (8/24付)	茶	カンザワハダニ、サビダニ類、チャノホコリダニ	1500~2000倍	14/1
・ディアナSC (8/24付)	キャベツ	アザミウマ類	2500~5000倍	前/2
・ディアナWDG (8/24付)	りんご	ヨモギエダシヤク、ケムシ類	5000~10000倍	前/2
	なし	ハマキムシ類	5000~10000倍	前/2
	もも	シンクイムシ類	5000~10000倍	前/2
・コサイド3000 (9/7付)	野菜類	褐斑細菌病	2000倍	-/-
	ミニトマト	疫病	1000倍	-/-
	だいこん	白さび病	1000倍	-/-
	こんにゃく	葉枯病	1000倍	-/-
	アスパラガス	褐斑病	2000倍	-/-
	あずき	褐斑細菌病	1000倍	-/-
	びわ	がんしゅう病	1000倍	-/-
	びわ(葉)	がんしゅう病	1000倍	-/-